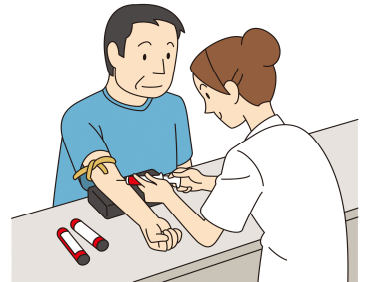


(有)静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678
ひまわり薬局 TEL053(463)4312 みかん薬局 TEL053(584)2230 いちご薬局 TEL055(946)6430

血液検査データについて①



皆さん、血液検査の結果を見たときに色々な検査項目があるけれど、一体どんな結果を示しているの?と思った経験はないでしょうか?今回はたくさんある項目の中でも一般的な検査項目について解説したいと思います。

【血球系検査】

項目	検査項目の意味
WBC (白血球)	人の体を外敵から守る働きがあります。体内で炎症が起きているときや、細菌などに感染したとき数値が変動します。
RBC (赤血球)	血液の主成分である、赤血球の数を示します。赤血球には、酸素を運ぶヘモグロビンが多く含まれています。低値の場合貧血が疑われます。
Hb (ヘモグロビン)	血色素とも言われる、赤血球に含まれる主要な成分です。呼吸によって取り込まれた酸素を全身の組織や細胞に運ぶ役割をしています。貧血の経過観察の指標になります。
Hct (ヘマトクリット)	全血液中の赤血球の割合を示します。低値の場合は、ヘモグロビンと合わせて貧血の種類を判断する為に使用されます。
PLT (血小板)	止血の働きがあります。減少すると出血傾向になります。ウィルス感染や紫斑病、急性白血病、肝硬変時減少します。貧血では上昇する事があります。
MCV (平均赤血球容積)	赤血球 1 個の大きさを示します。貧血の種類を判断する為に使用します。
MCH (平均赤血球色素量)	赤血球 1 個に含まれるヘモグロビンの量を示します。貧血の種類を判断する為に使用します。
MCHC (平均赤血球色素濃度)	赤血球 1 個あたりのヘモグロビンの濃度を示します。貧血の種類を判断する為に使用します。

※MCV・MCH・MCHCが高い：ビタミンB12欠乏性貧血・甲状腺ホルモン異常・肝臓障害などが疑われます。

MCV・MCH・MCHCが低い：鉄欠乏性貧血・慢性的な炎症(リウマチなど)による貧血などが疑われます。

※血球系検査項目は、体質で異常値であっても心配ない方もいます。

【糖代謝系検査】

血糖	血液中のブドウ糖濃度の事で、全身のエネルギー源として働きます。血糖を下げるインスリンの働きが悪くなると慢性的に血糖が上昇してしまい、糖尿病が疑われます。
HbA1c (グリコヘモグロビン)	グリコヘモグロビンは赤血球中のヘモグロビンと血液中のブドウ糖が結合したもので、血糖値が高いほど作られやすくなります。過去 1~2 ヶ月の平均血糖値を推定することができて、糖尿病患者の血糖管理に役立ちます。

【脂質系検査】

項目	検査項目の意味
T-cho (総コレステロール)	コレステロールは細胞膜、胆汁酸、ホルモン合成等に欠かせない重要な物質です。量が増えすぎると狭心症や心筋梗塞などの危険性が高くなります。
TG (中性脂肪)	食物中に含まれる脂質の大部分を占めます。多すぎると脂肪組織にたまり、肥満や動脈硬化の原因となります。食事や飲酒により高くなりやすいです。
HDL-C (善玉コレステロール)	過剰なコレステロールを末梢組織から肝臓へ運ぶ役割をしています。LDLと同時に測定して動脈硬化、高脂血症などの診断や経過観察に用います。
LDL-C (悪玉コレステロール)	コレステロールを最も多く含んでおり、量が増えると血管の組織にコレステロールを蓄積させて、脳梗塞や心筋梗塞を起こしやすくする性質があります。

※逆にコレステロールが低すぎると、ホルモン等が作られにくくなり、体の免疫機能を下げてしまう可能性があります。下げすぎにも注意しましょう！！

【腎臓系検査】

BUN (尿素窒素)	腎機能の指標として広く用いられています。値が高くなると腎機能低下が疑われます。また、脱水の時に高値を示す場合があります。
CREA (クレアチニン)	腎臓の働きの指標として用いられます。値が高くなると腎疾患が疑われます。筋肉の量で数値が変わるので、男性は女性よりも値が高くなる傾向があります。
UA (尿酸)	穀物・肉・魚等、食物全般に含まれるプリン体が体内で分解されていくと尿酸となり体外に排泄されます。尿酸の量が排泄量を上回り、体内に蓄積されていくと痛風の原因になります。尿酸値が高い状態が続いて、腎臓に沈着すると腎障害を起こす可能性があります。

【肝臓系検査】

TP (総たんぱく)	血液中の総たんぱく量を表します。数値が低い場合は栄養障害等、高い場合は慢性炎症・脱水等が疑われます。
ALB (アルブミン)	血液中のホルモン等を体の目的地まで運んだり、体液の濃度を調節する役割があります。栄養状態の指標としてよく用いられます。値が低くなると、肝障害・栄養不足等が疑われます。
T-BIL (総ビリルビン)	寿命を終えた古い赤血球内のヘモグロビンから作られます。肝臓や胆道に異常が起こると、ビリルビン排泄が上手くいかなくなり、数値が高くなります。血中のビリルビンの量が高くなると皮膚や粘膜に黄疸が現れます事があります。
AST(GOT)	心筋・肝臓・骨格筋・腎臓等に多く分布している酵素です。心筋梗塞や肝炎等でこれら臓器の細胞が壊されると、値が高くなります。
ALT(GPT)	AST と比べ肝臓の細胞に多く存在します。肝臓の細胞が壊されると、値が高くなります。肝炎の経過観察によく使われます。
LDH (乳酸脱水素酵素)	体内のブドウ糖がエネルギーに変わる時に働く酵素です。肝臓・腎臓・心筋・骨格筋・赤血球等に多く含まれ、これらの臓器等に異常があり細胞が壊れると、値が高くなります。高値では肝炎・心筋梗塞等が疑われます。
γ -GTP	肝臓の解毒作用に関連する酵素です。高値だと胆汁の流れの障害や、肝炎等の肝障害が疑われます。お酒の飲み過ぎや、肥満等によっても高くなります。
CHE (コリンエステラーゼ)	肝臓の細胞の働き具合を見ることのできる酵素です。栄養不良・肝障害等で低下します。

★疑問な点やご質問がございましたら、お気軽にご相談下さい★